

様式第2号

法第2条第2項第1号関係
住居と勤務場所との間の往復
の場合

通勤災害認定請求書

* 認定番号

請求年月日
令和〇 年 〇 月 〇 日

群馬県 支部長 殿

請求者の住所
前橋市大手町1-1-1

フリガナ
氏 名
群馬 花子

被災職員との続柄
本人

所属に提出した日

地方公務員災害補償基金

下記の災害については、通勤により生じたものであることの認定を請求します。

1

所属団体名
地方公共団体名（任命権者ごと）
又は一部事務組合名

所属部局名
被災時の所属（部課、事務所、学校、警察署等）
（電話番号 027-000-0000）
係名は不要

職 名
主任、教諭、巡查等
常 勤
令第1条職員

フリガナ
氏 名
群馬 花子
昭和〇〇年 〇 月 〇 日生（ 〇 歳）
記入漏れに注意
災害発生日の年齢

災害発生日の時
令和〇 年 〇 月 〇 日（ 〇 曜日）
午前
午後

災害発生の場所
負傷した場所又は疾病が発症した場所（勤務場所以外の場合は番地まで記入する）

傷 病 名
診断書に記載された傷病名全て
診断書の内容に合わせて
記載する

傷病の部位及びその程度
腰部 加療〇か月の見込み

* 受 理
(到達した年月日)

所 属 部 局
年 月 日

任 命 権 者
年 月 日

基 金 支 部
年 月 日

* 認 定
年 月 日
□ 該当 □ 非該当

* 通 知
年 月 日

[注意事項]

1 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入する、又は該当する箇所を○で囲むこと。

2 「1 被災職員に関する事項」の欄の「職名」は、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡查、消防士等と記入すること。

3 この様式において「通勤」とは、職員が、勤務のため、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復することを行い（公務の性質を有するものを除く。）、職員が、この往復の経路を逸脱し、又はこの往復を中断した場合においては、その逸脱又は中断の間及びその後の往復は、上記の通勤には該当しないこと。

ただし、その逸脱又は中断が、日常生活上必要な行為であって総務省令で定めるものをやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合は、その逸脱又は中断の間を除き、この限りでないこと。

したがって、「2 災害発生の状況等」の欄は、災害が上記の通勤により生じたものであることが明らかとなるよう、その状況を記入すること。

4 「2 災害発生の状況等」又は「* 5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、当該欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

災害発生 の 状 況 等	2	(1) 災害発生の日の勤務開始（予定）時刻又は勤務終了の時刻	午前 午後	○ 時 ○ 分頃
		(2) 災害発生の日に住居を離れた時刻	午前 午後	○ 時 ○ 分頃
		(3) 災害発生の日に勤務場所を離れた時刻	午前 午後	○ 時 ○ 分頃
		(4) 災害発生の状況		
		次の記載ポイントについてできる限り具体的に記入してください。		
		1 通常の通勤方法	私は〇〇市役所〇〇課に勤務しており、通常は〇〇（通勤方法）で通勤しています。	
		2 当日の状況	被災当日は〇時から〇時までの勤務のため、〇時頃に〇〇（通勤方法）で自宅を出ました。	
			※通常以外の方法であった場合はその理由を記入	
		3 いつ・どこで	午前〇時〇分頃、〇〇市〇〇町〇〇番地の交差点で	
		4 何をしていたとき	信号待ちのため停車していたところ、	
	5 何が原因で・何が起き	後続の自動車が前方不注意でスピードを落とさずに追突してきたため、		
	6 どこをどのように負傷し	腰部を強く打ち付けて負傷し、		
	7 どの医療機関を受診し	救急車で〇〇病院へ搬送され、		
	8 どのような診断をされたか	腰部挫傷と診断されました。		
長所の 属 証 明 局 の	* 3	1 及び 2 については、上記のとおりであることを証明します。		
		令和〇 年 ○ 月 ○ 日 所属長の証明日（請求日 と同日か後の日）	所属部局の 名 称 〇〇市役所〇〇課 所 在 地 〇〇市〇〇町〇〇番地 長の職・氏名 課長 〇〇	押印不要
4	添付する資料名	☐ 診断書 ☐ 現認書又は事実証明書 ☐ 交通事故証明書 ☐ 第三者加害報告書 ☐ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☐ 出勤簿の写 ☐ 見取図 ☐ 経路図 ☐ 関係規程 ☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☐ 写真 ☐ 示談書 ☐ その他		
任命	* 5	9 1 6 本件は、合理的な経路及び方法による通勤途上で発生した災害であり、通勤による災害に該当すると思料する。等		
		任命権者の意見日 （所属長の証明日 と同日か後の日）	令和〇 年 ○ 月 ○ 日 任命権者の職・氏名 〇〇市長 〇〇	押印不要

- 5 「2 災害発生の状況等」の欄の（1）には、災害が出勤の際に生じたものである場合は、勤務開始（予定）時刻を、災害が退勤の際に生じたものである場合は、勤務終了の時刻を記入すること。また、（2）は、災害が出勤の際に生じた場合に、（3）は、災害が退勤の際に生じた場合にそれぞれ記入すること。
- 6 「* 3 所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱い、基金に相談すること。
- 7 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の9種類の区分番号を記入すること。
- 1 義務教育学校職員 2 義務教育学校職員以外の教育職員 3 警察職員 4 消防職員
5 電気・ガス・水道事業職員 6 運輸事業職員 7 清掃事業職員 8 船員 9 その他の職員
- 8 「* 5 任命権者の意見」の欄の「」は、下記の16種類の区分番号を記入すること。
- 01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師・助産師 04 その他の医療技術者 05 保育士・寄宿舎指導員等
06 船員 07 土木技師・農林水産技師・建築技師 08 調理員 09 運転士・車掌等 10 義務教育学校教員
11 義務教育学校以外の教員 12 その他の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃職員 16 その他の職員
- 9 年月日の記載には元号を用いる。